



お金持ちに共通する習慣とは何か

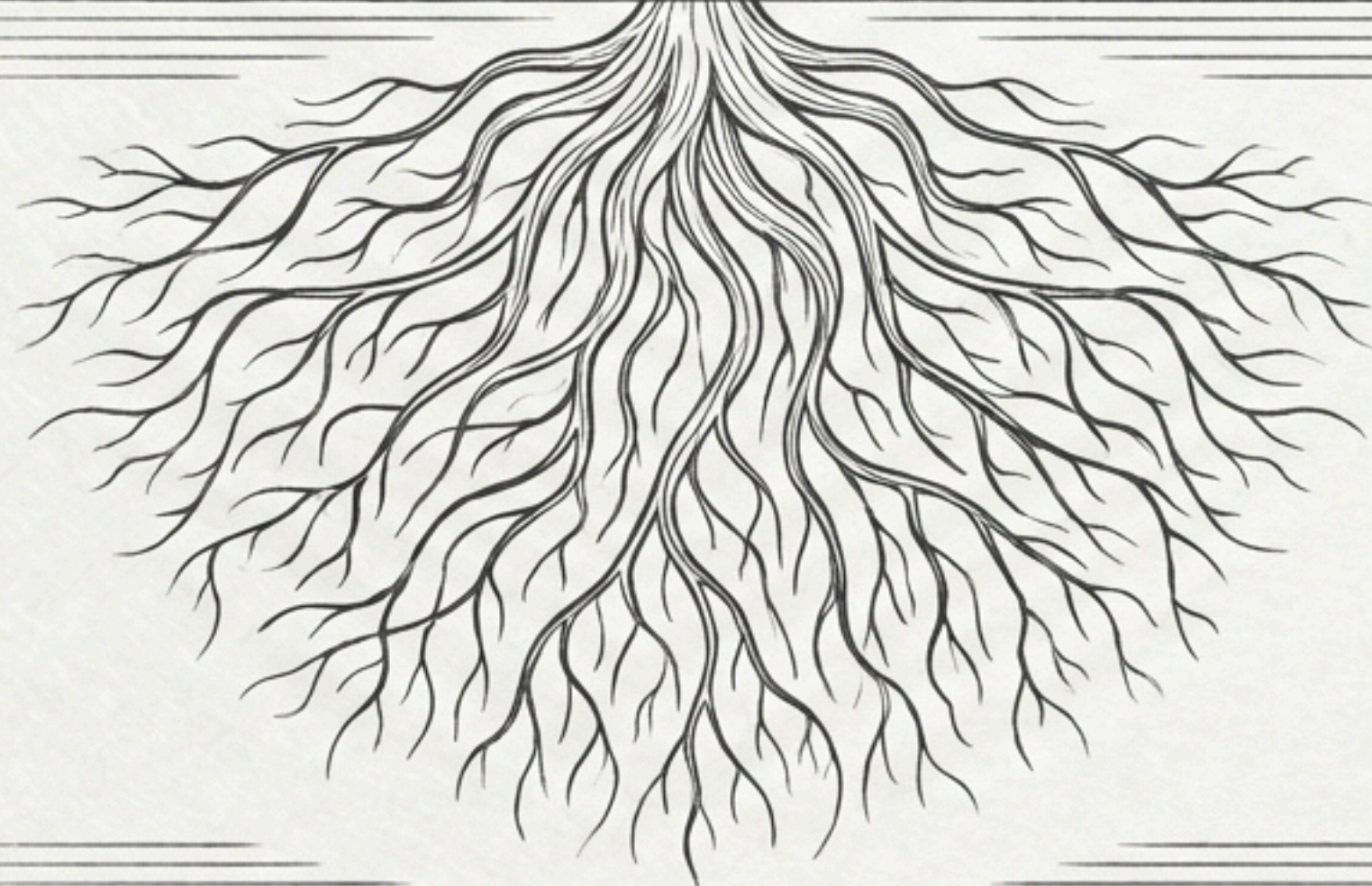
道 (TAOISM) の視点から紐解く、富と在り方の法則

富は「結果」に過ぎない



目に見える結果
資産・収入

人は「何を持っているか」という
派手な結果だけでお金持ちを見る。

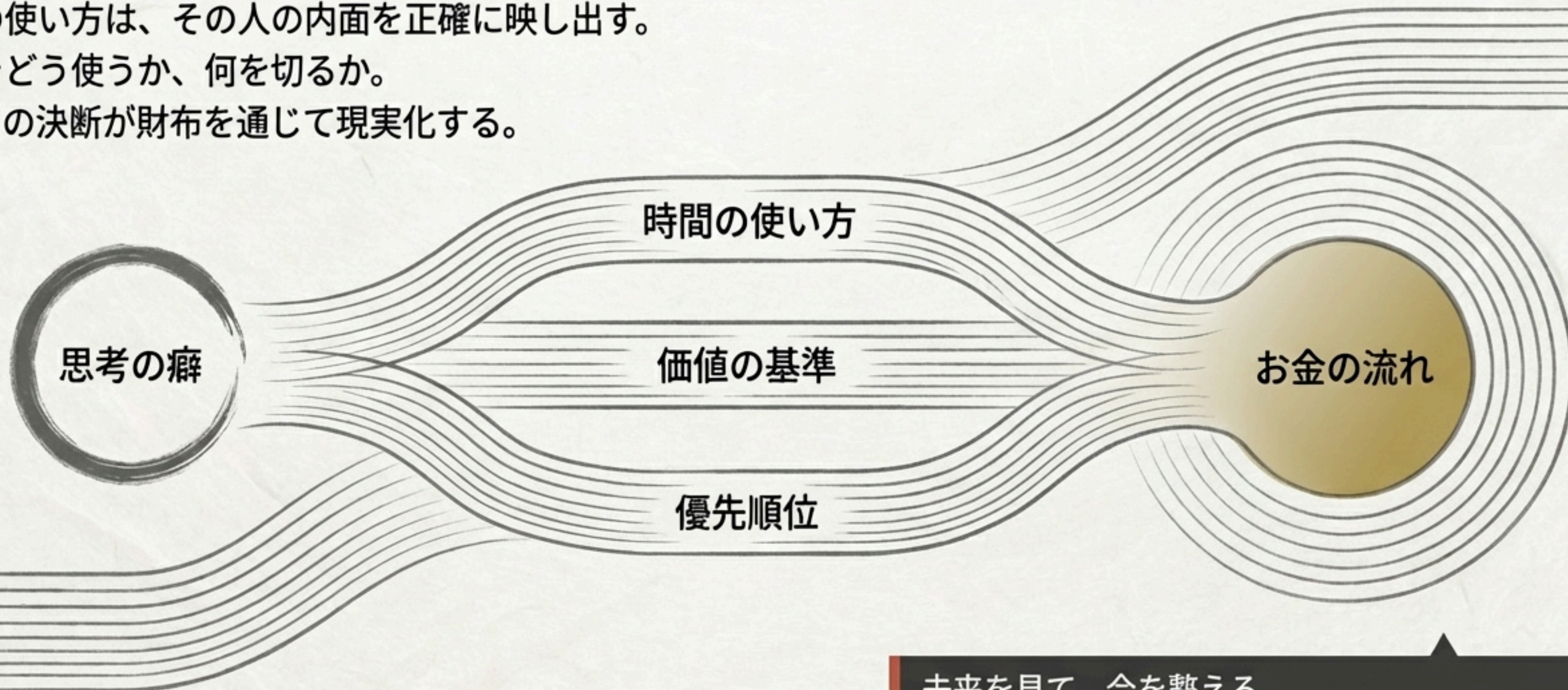


目に見えない在り方
日々の選択・長く続く習慣

しかし本質は、どう考え、
どう使い、どう整えるか。
富は偶然ではなく、
日々の小さな選択の
集積から生まれる。

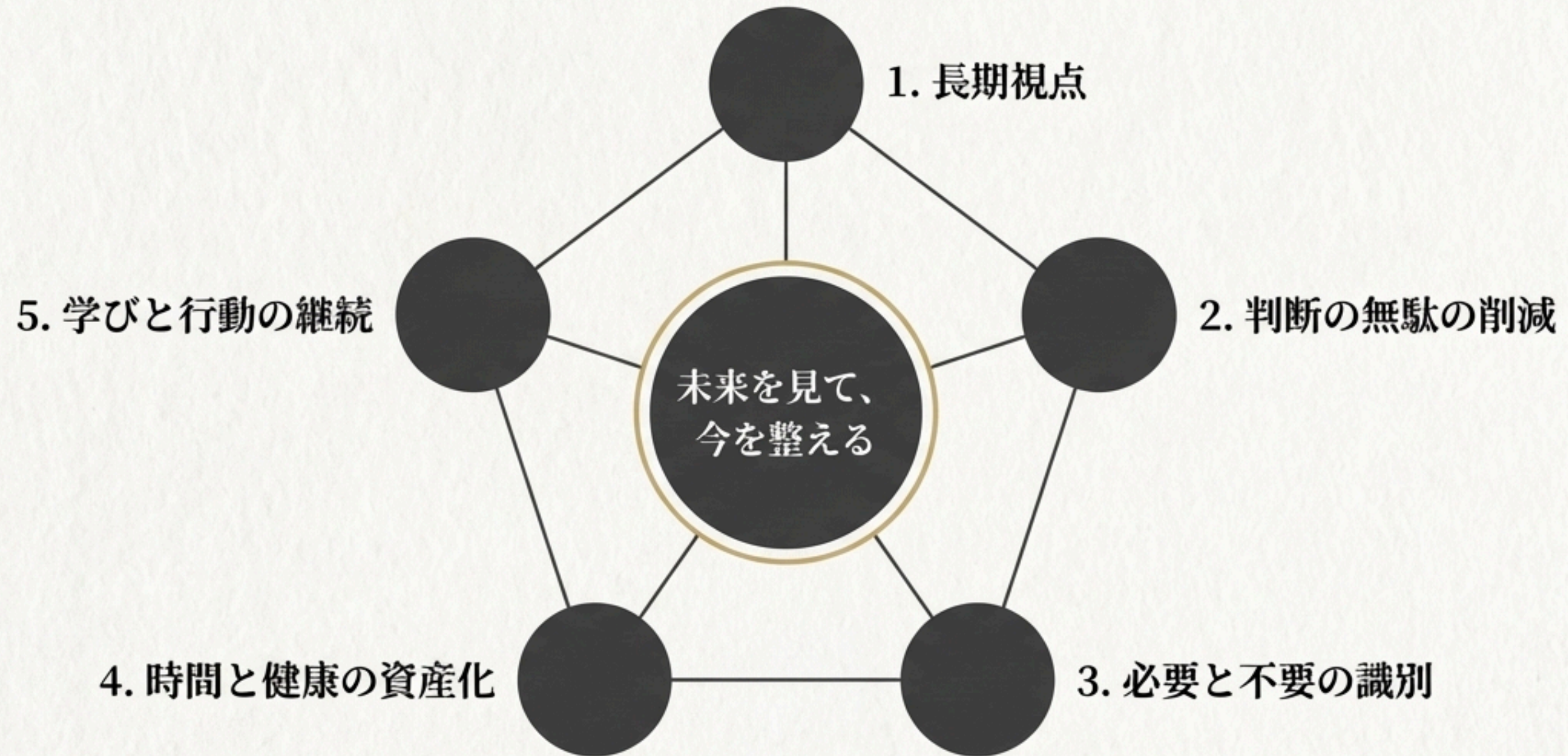
お金の流れは、思考の流れを映す鏡

お金の使い方は、その人の内面を正確に映し出す。
時間をどう使うか、何を切るか。
すべての決断が財布を通じて現実化する。



未来を見て、今を整える。
これがすべての行動を貫く唯一の理屈である。

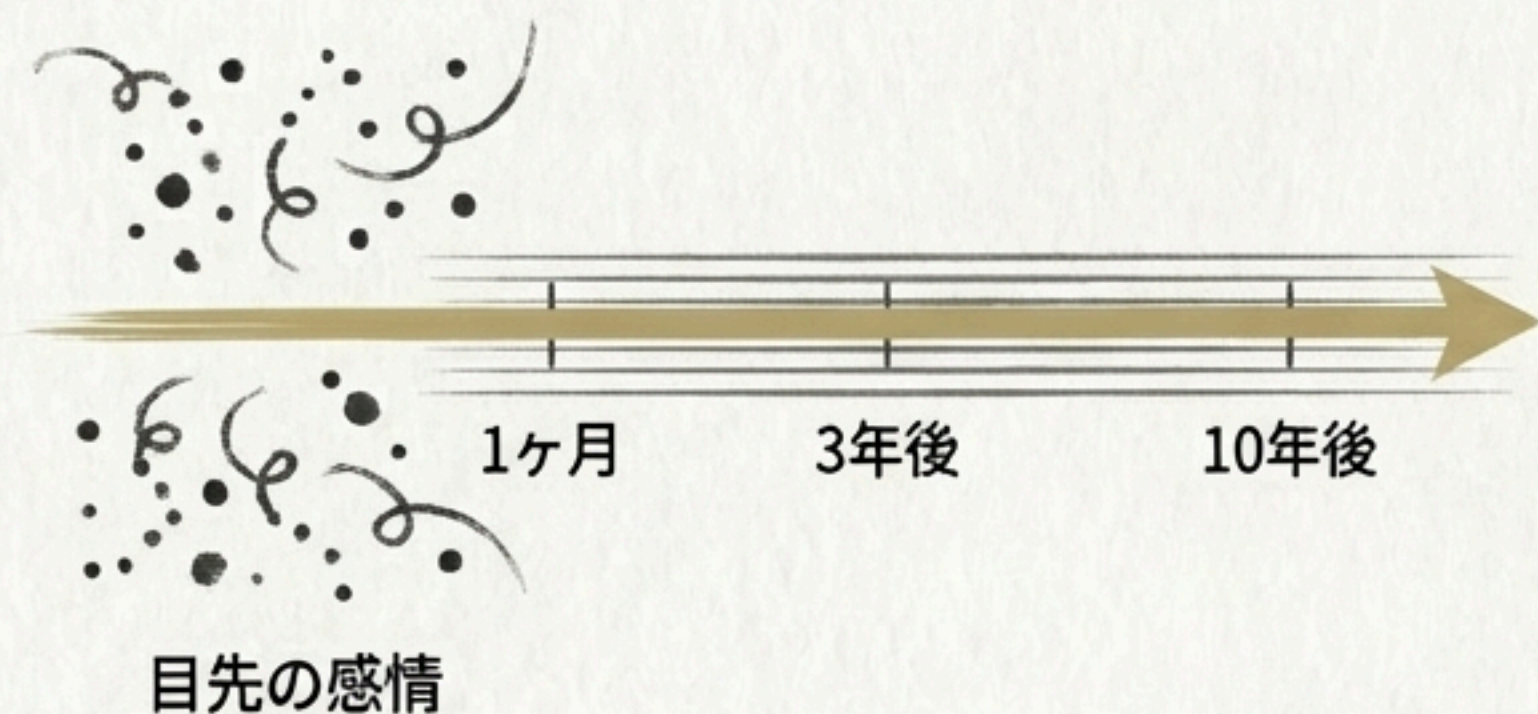
20の習慣を貫く「5つの柱」



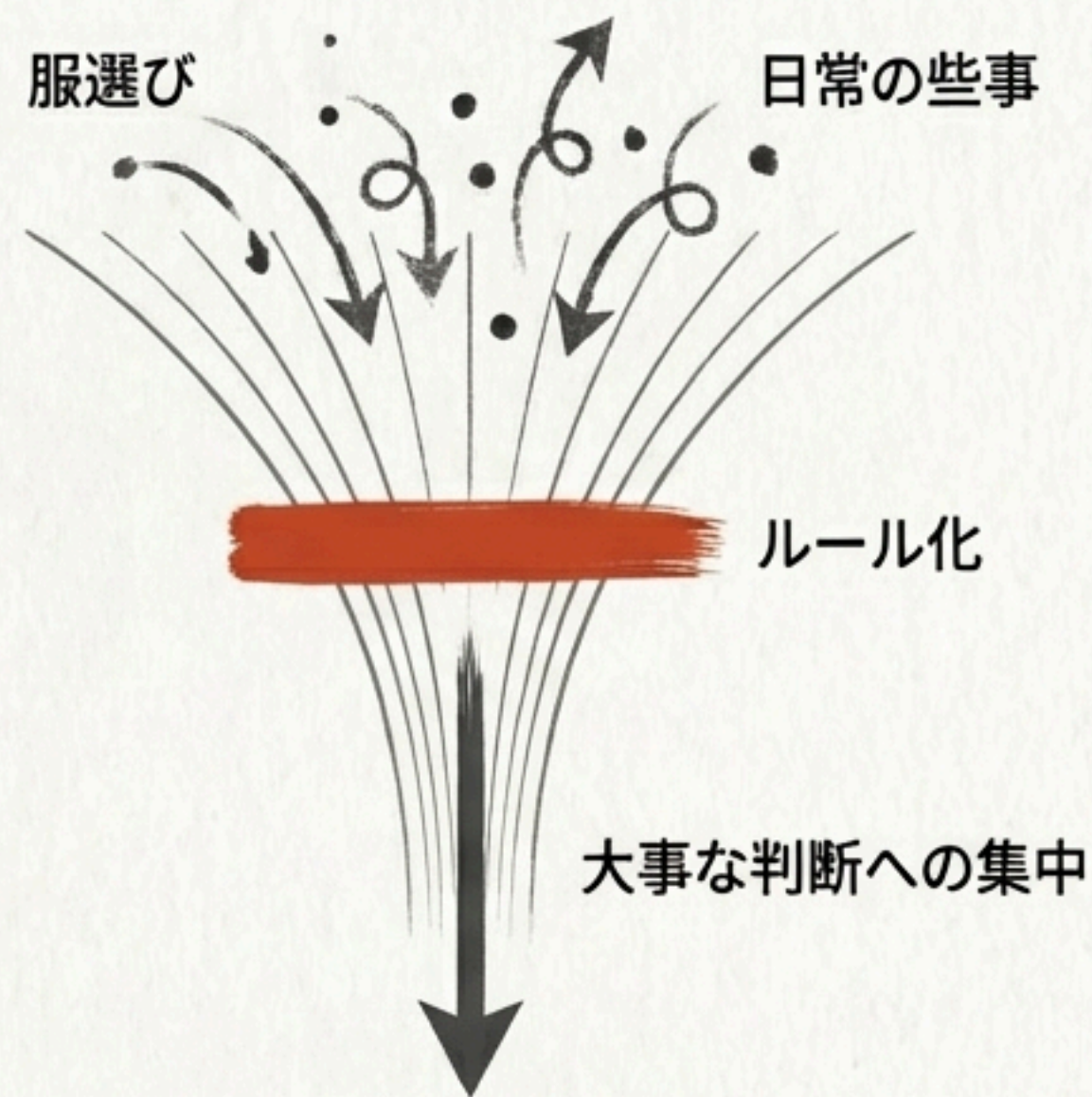
表面上の行動は多くとも、道の視点ではこの5つに集約される。

Noto Sans JP Light

視点を遠くへ置き、日常の判断を削ぎ落とす

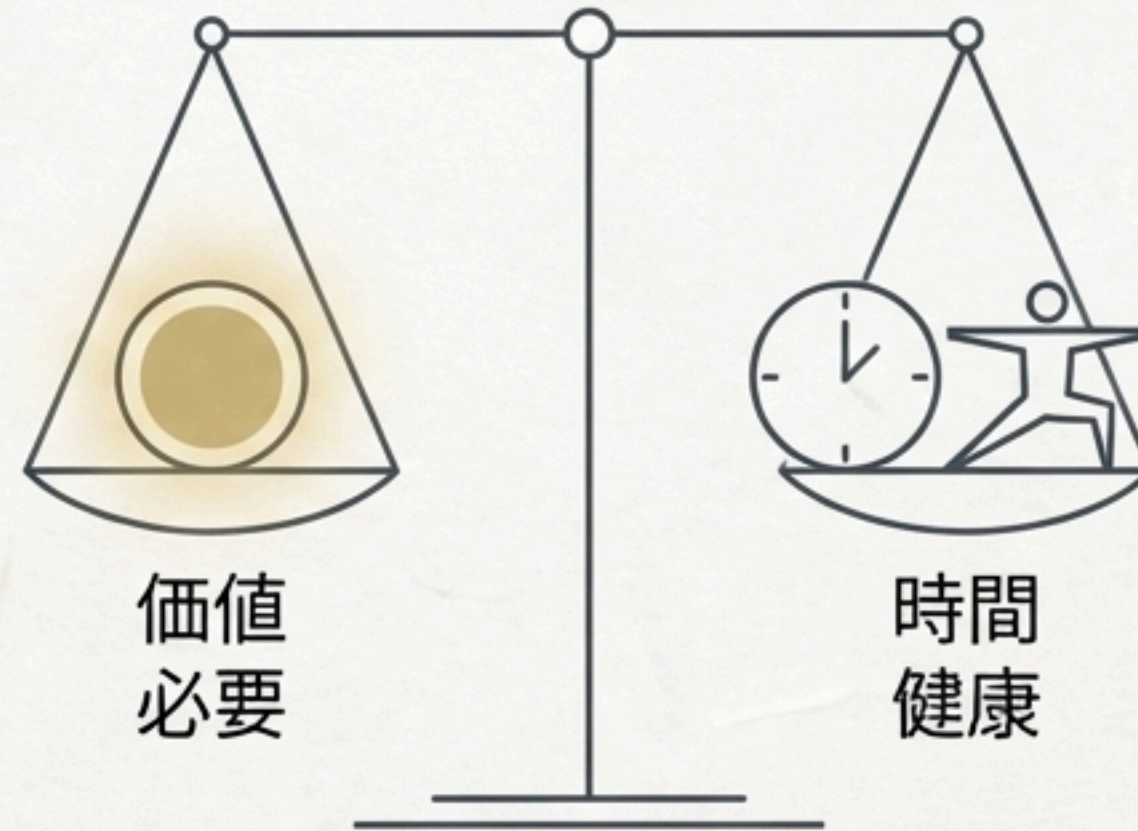


長期視点：目先の感情に流されず、短期から長期までの目標を持ち、最終的なゴールを見失わない力。



判断の無駄を減らす：服装やよく使うものを固定する。意思力の消耗を防ぎ、真に重要な決断に集中する。

欲望を退け、 真の資産（時間と健康）を守る



見栄 衝動 セール品

必要と不要を見分ける：

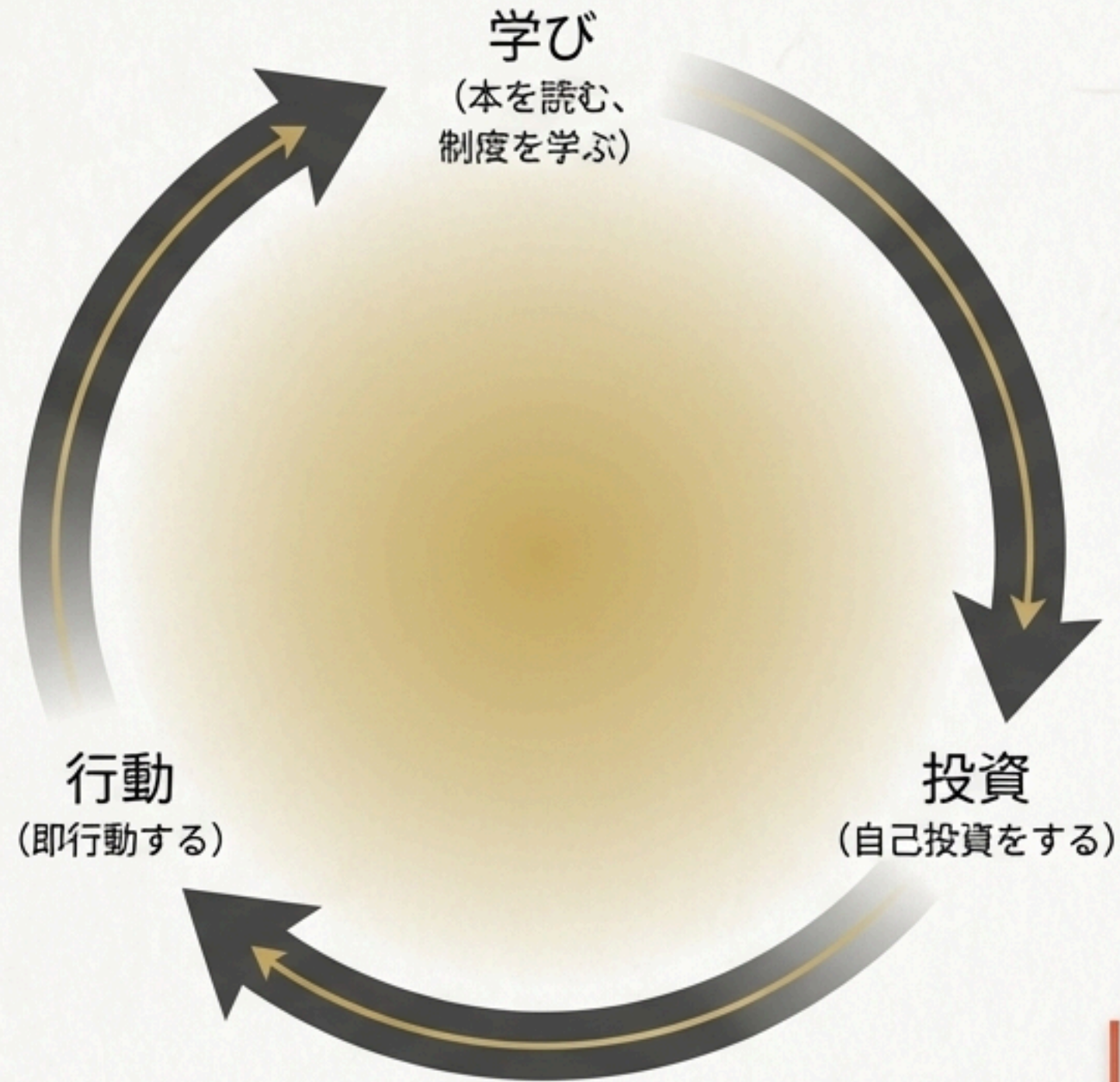
「欲しいから」「セールだから」ではなく、
「必要だから」「価値があるから」選ぶ。
見栄や衝動に流されない徳。

時間と健康を資産と捉える：

時間は有限であり、健康はすべての土
台。お金持ちはお金だけでなく、身
体と集中力を究極の資産として扱う。

学びを行動に変換し続ける

知識を得るだけで終わらせない。
読書や学びで得た情報を、
即座に投資と行動に移すことで
現実を変えていく。



動くことでしか、現実は変わらない。
これが富を呼び込む動的な思考である。

富を遠ざける人の特徴（お金が貯まりにくい理由）

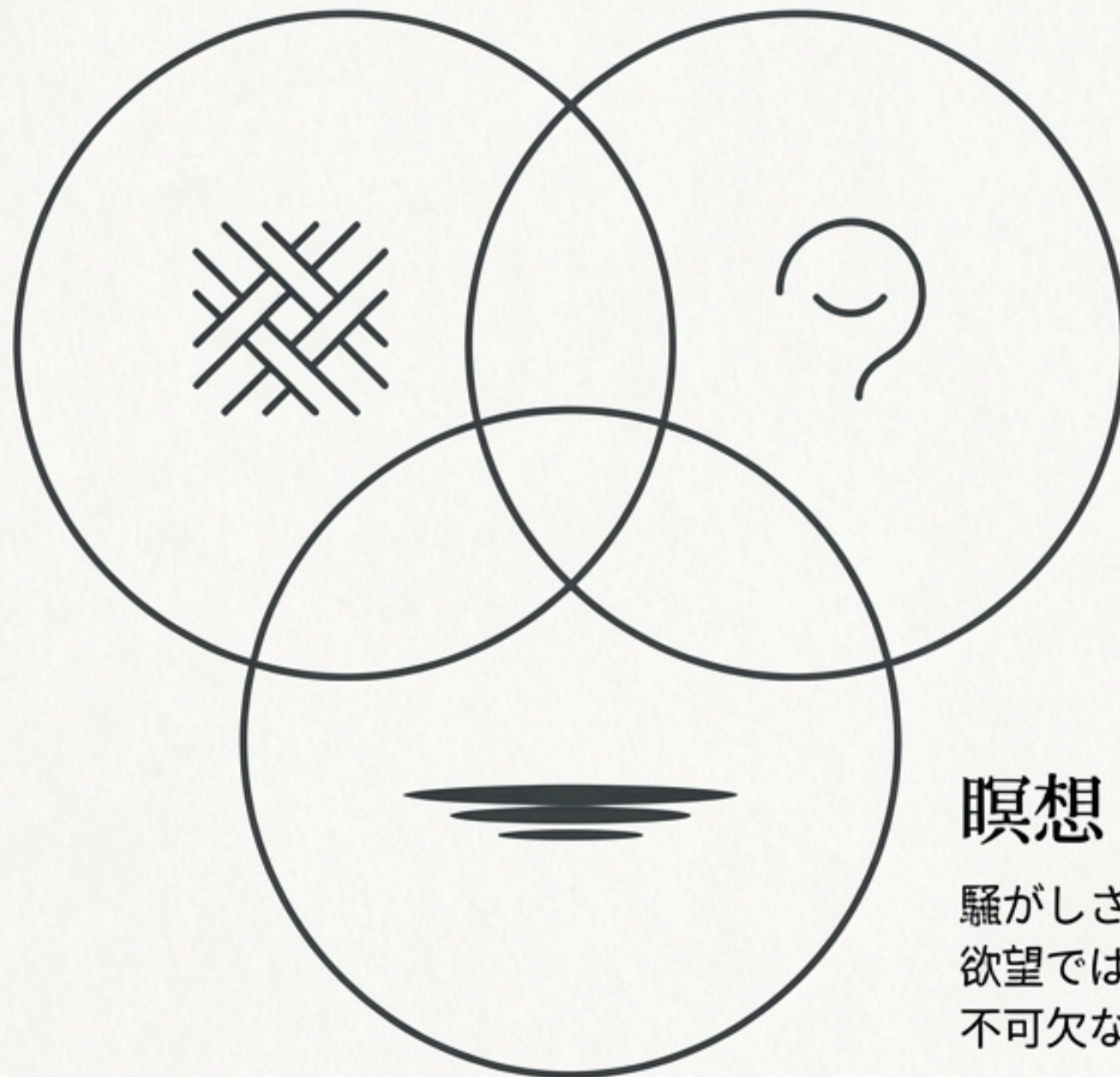
	【富を遠ざける習慣】	【富を呼び込む習慣】
行動の動機	クーポンやポイント、 目先の「自分へのご褒美」	未来への価値、真の必要性
時間とお金の トレードオフ	10円安く買うために1時間を失う、 フリマに神経を消耗する	時間を大切にし、 苦手なことはお金で外注する
節約の定義	単なる支出の削減 (結果的に人生全体で損をする)	時間とお金と心の「均衡」を 整えること

本質を見失い、目先に引っ張られると、お金を守っているつもりで人生全体で損をする。

Taoismの修養 | 富を育む3つの実践

十織

日々木の修養と考を
日々の行動と思考を
整える実践。



五省

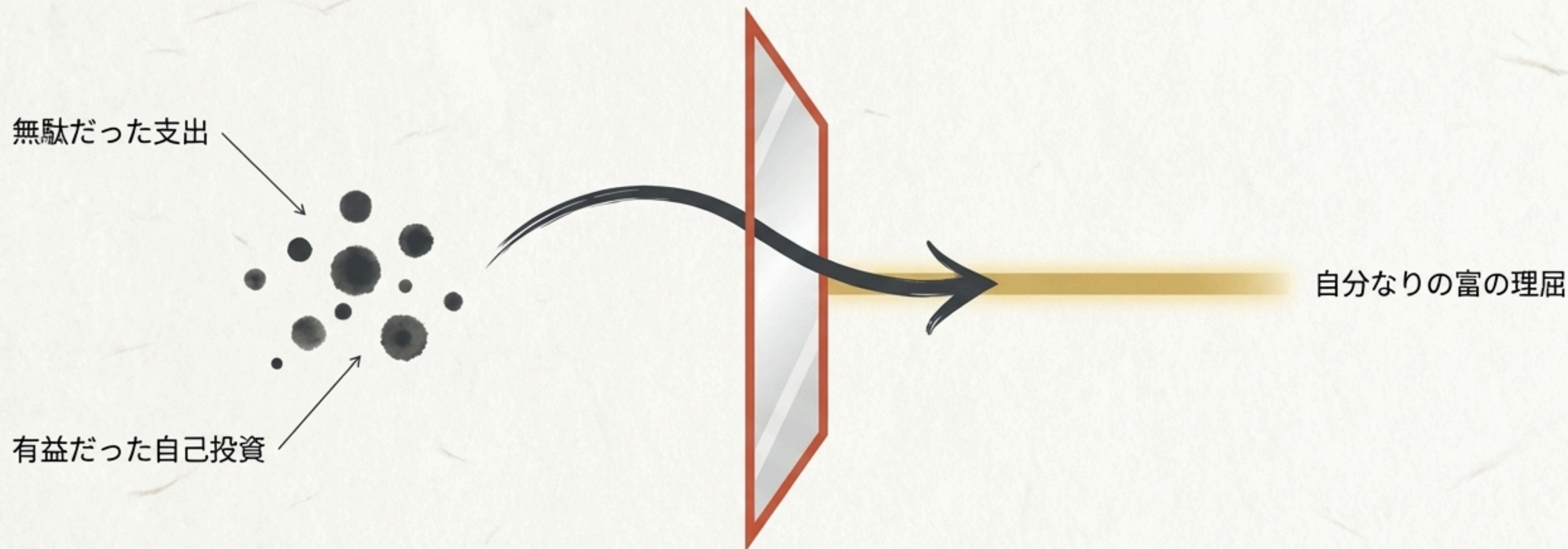
「この買い物は必要だったか？」
「未来につながるか？」
「見栄ではないか？」と
自分を省みる問い。

瞑想

騒がしさを離れ、心を静める時間。
欲望ではなく「本心」を見極めるために
不可欠な空白。

稽古照今（けいこしょうこん） | 古きを学び、今を照らす

昔の知恵をただ真似るのではない。過去の失敗や支出を見直し、今の自分の在り方と使い方を正すこと。



過去の使い方の検証が、未来の富の精度を上げる。

徳と共同体 | 本当に豊かな人の使い方

道において、富は自分だけのためにあるのではない。
大切な人のためにお金を惜しまず使い、
感謝と礼節を重んじる。

感情論ではない。

良い関係は情報・機会・助け合いを生む。

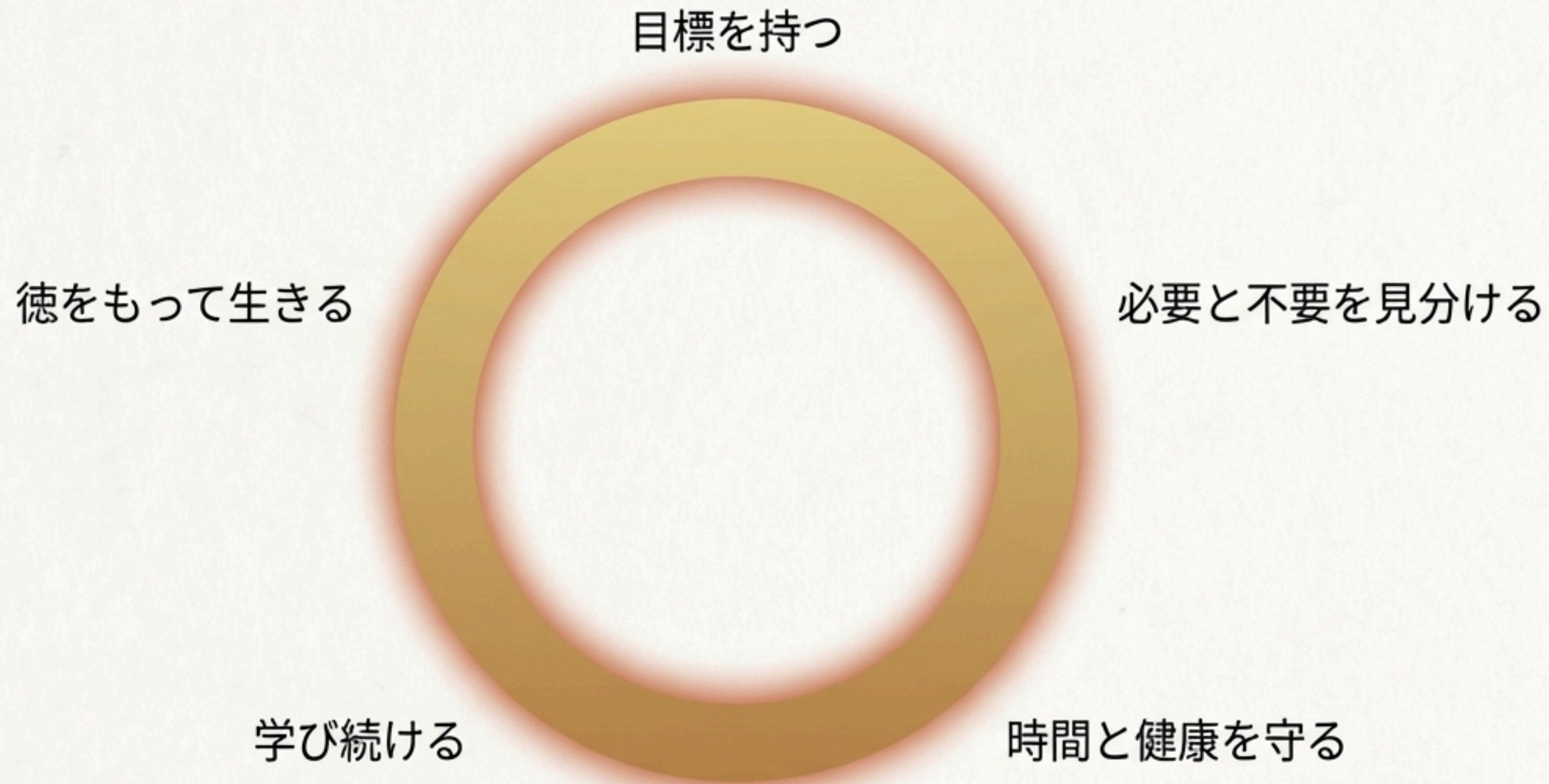
良い関係は情報・機会・助け合合金を生む。

「信頼」こそが長期的には最も強い資産となる。

これが道のいう「徳」である。



結び | 富とは、整った生き方の結果である



特別な裏技はない。富とは、本質を見抜き、理屈を理解し、行動を整えた先に静かに集まってくるものである。

最後に、自らに問う。

今の自分の出費は、未来の自分を豊かにしているだろうか？

今の自分の時間の使い方は、本当に価値あるものに向いているだろうか？

今の自分の習慣は、富を呼ぶ習慣だろうか？